

いきもの通信

2022年7月2日発行



殿山で目撃されたアライグマ(子供)

見た目に反して気性が荒いため、ペットとして購入したものの飼いきれず野生に放たれた個体が、全国で増殖しているといわれています。特定外来生物は、ほとんどが人の手によって放たれた物です。

見た目が可愛い以外にも、昭和の時代に流行ったラスカルという名のアライグマが出てくるアニメの影響で、好印象を持っている人もいると思いますが、現在各地で深刻な被害をまき散らしている立派な害獣です。農作物や在来生物への被害以外にも、住宅の破壊や病気の媒介など、人に害を与える動物です。気性が荒く人に噛みつく事もあります。見かけても、決して触らず刺激しないようにしてください。

殿山には、両生類や鳥類、甲殻類以外にも、実は哺乳類もいるのをご存知でしょうか？日本に古くからいる「たぬき」もその一種。このたぬきは、ペットが逃げ出した物でも誰かが放った物でもなく、このあたりに昔から住んでいる日本古来の野生動物です。しかし、そんなたぬきと違って、最近入ってきた外来生物も殿山にはいます。特定外来生物の「アライグマ」です。一見するとたぬきに似ていますが、しっぽがシマシマなので一目でわかります。

アライグマ現る！

ホームページ始めました

殿山での生き物関係の活動を掲載するホームページ「殿山いきものがかり」を作成しました！

今は実験的に行っているのですが、おしらせといきもの通信のバックナンバーの掲載が中心ですが、徐々に皆さんと一緒にイベントなどの情報も掲載していこうと思います。

「こんな事をやってほしい」や「こんな話を知りたい」などあれば、ぜひホームページからご意見をお寄せください。

スマホや携帯電話からもご覧いただけます。以下のURLもしくはQRコードからアクセスしてみてください。

殿山いきものがかりホームページ
<https://tonoyamamachida.wixsite.com/toppage>



殿山の「いきもの」ピックアップ！



サワガニ(沢蟹)
(エビ目(十脚目)・カニ下目・サワガニ科)
日本の固有種で、一生を淡水域で過ごす水性の蟹

きれいな水でしか生きられないカニですが、この殿山にも少数ですが生息しています。沢蟹が生きられるような素敵な環境をこれからも残したいですね。

池のザリガニについて



ザリガニの繁殖力ってご存知ですか？年に数回卵を産み、その数は一匹当たり200～1000個と言われています。「そんなに卵を産む割に、この池にはあまりいないね？」と思う方もいるかもしれませんが、そのほとんどが「共食い(ともぐい)」するなどして、死んでいるのです。

この池の環境は、ザリガニにとって決していい環境ではありません。

ザリガニにエサを与えることは、ザリガニ自身をも苦しめる行為を助けていることとなります。パンくずなどの投棄はやめてください。